

【No. 1】西洋建築史に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 「ギリシャ古典様式」の柱と梁の構成には、一定の形式（オーダー）が定められ、ドリス式・イオニア式・コリント式として有名である。
2. 15世紀はじめのイタリアにはじまり、比例、均衡、調和を重んじる古典建築様式の再生を目指したのが「バロック建築」である。
3. 11～12世紀にかけ厚い壁、太い柱、ボールド天井をもった、重厚な「ロマネスク建築」が確立した。
4. 18～19世紀にかけて古代ギリシャ・ローマの古典建築様式への回帰をめざした「新古典様式」が復興した。

〔解説〕「バロック建築」でなく「ルネッサンス建築」である。

答. 2

【No. 2】建築基準法に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 物品販売店舗の客用階段の幅は、140 c m以上とする。
2. 階段に代わる傾斜路の勾配は、1/8以下とする。
3. 2階以上のバルコニー等に設ける手すりの高さは、1.1m以上とする。
4. 居室の天井の高さは、2.0m以上とする。

〔解説〕居室の天井の高さは、2.1m以上とする。

答. 4

【No. 3】建築計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 一般に貸事務所建築のレントブル比は50～60%とされている。
2. 集合住宅における中廊下型形式は日照、通風、防災などの点で欠点が多い。
3. 劇場の客席部分の規模は一席当り0.5～0.8 m²程度である。
4. ビジネスホテルでのシングルルームの面積は1室12～15 m²位に切り詰める例が多い。

〔解説〕 一般に貸事務所建築のレンタル比は 70～80%とされている。

答. 1

〔No. 4〕 建築基準法の用語に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 特殊建築物は不特定多数の人が利用したり、危険性が高い・汚いなどから特に安全性や立地などについて考慮されるべきである。
2. 避難階とは直接地上へ通ずる出入口のある1階のみの階をいう。
3. 主要構造部とは壁、柱、床、梁、屋根、屋外階段などをいう。
4. 延焼のおそれのある部分とは、隣地境界線、道路中心線等から1階で3m以下、2階以上で5m以下の距離にある部分をいう。

答. 2

〔No. 5〕 排水設備に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. Pトラップは、封水が切れやすいので、特殊な用途にのみ使用される。
2. 排水トラップは、排水管や下水管からの臭気等の流入を防止するために設ける。
3. 通気管は、トラップの封水が失われるのを防止するものである。
4. グリーストラップは、阻集器であり、トラップの機能のほか脂肪分を除く目的を持っている。

〔解説〕 Pトラップは、最も多く使用される形で、封水が切れにくい。

答. 1

〔No. 6〕 耐震設計に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 阪神大震災（1995年）で、耐震設計法施行以前の建物の耐震性向上を急ぐ必要があることが判明した。

施設と設計

2. 地震に対応するものとして、耐震構造、免震構造、制震構造があり、一般にも知られている。
3. 耐震設計基準は、大地震の都度見直され、改正、基準の追加がくりかえされて、現在に至っている。
4. 帳壁や内装材等の非構造部材については、耐震設計の基準は特になく、構造チェックを必要としない。

〔解説〕 構造チェックは必要

答. 4

【No. 7】 防災・安全に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 防火区画には、面積区画、堅穴区画、異種用途区画、非耐火・準耐火建築物との防火区画等がある。
2. ホテル・旅館・マーケット等の防火上主要な間仕切壁等は準耐火構造とし、小屋裏・天井裏まで達するように設置する。
3. 無窓の居室から直通階段までの歩行距離の規定は、50m以下である。
4. 一定規模以上の特殊建築物においては、二方向避難を原則とする。

〔解説〕 30m以下

答. 3

【No. 8】 空気調和設備等に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 空気調和設備は、消費されるエネルギー量の割合が低く、商業施設のランニングコストに与える影響は少ない。
2. 空気調和とは、室内の空気の温度、湿度、清浄度、気流分布などを使用目的に適した状態に同時に調整することをいう。
3. 空気熱源ヒートポンプ方式のエアコンの暖房能力は、外気の温度が低くなるほど低下するため、寒冷地には向かない。
4. ダクト設備は、一般に低速ダクトは角型、高速ダクトは円型である。

〔解説〕 空気調和設備は、消費されるエネルギー量の割合が高いため、商業施設のランニングコストに与える影響が大きい。

【No.9】防災・消防設備に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. スプリンクラー設備は、初期消火に極めて有効である。
2. 大規模建築物の防災センターは、避難階に設置して、火災時に避難者がそこに待避できるようにする。
3. 泡消火設備は、泡による酸素供給の遮断と冷却効果により消火を行うものである。
4. 自動火災報知設備の差動式熱感知器は、感知器の周囲温度が一定の温度上昇率以上の場合に作動するものとする。

〔解説〕防災センターの役割は、平常時は防災施設の維持管理と監視、非常時は消火活動の拠点となることである。待避場所ではない。

【No.10】色彩計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 色彩計画のことをカラーチャートという。
2. 色調のことをトーンと言い、明度と彩度を併せた概念である。
3. 色の三属性とは、色相、明度、彩度のことである。
4. 安全色彩は非常時や往来時に関わる安全を確保するための色である。

〔解説〕色彩計画は、カラースキームという。

【No.11】騒音に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 騒音レベルは、JIS に指定された騒音計によって測定した値で、単位は dB で表す。
2. 同じ強さの 2 つの音が同時に存在するとき、騒音レベルは 3dB 増加する。

施設と設計

3. 外部騒音の防止には、重く厚い壁と気密な構造により遮断する。
4. 音源からの距離が2倍になると、4dB ずつ減衰する。

〔解説〕音源からの距離が2倍になると6dB ずつ減衰する

答. 4

【No.12】サイン計画に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. サインの分類は、配置別、対象別、用途別、機能別の4種類がある。
2. 伝達情報を図案化し、絵文字にしたものをピクトグラムという。
3. ランドマークや環境アートの本来の目的はサインである。
4. サイン計画は、施設・店舗計画と一体である。

〔解説〕ランドマークや環境アートの本来の目的はシンボルである。

答. 3

【No.13】環境計画に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. 環境計画は、空間的・時間的・社会的な関係がある。
2. 災害などの時に地域の連帯が発揮されるようにすることも環境計画である。
3. 環境計画では、環境の質・性能に加えて地球を汚さないことも含まれる。
4. ランドスケープデザインとは造園計画のことで、街並み演出は含まない。

〔解説〕ランドスケープは造園設計、街区、街並み演出などをトータルに計画することである

答. 4

【No.14】アメニティ計画に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

施設と設計

1. ユニバーサルデザインとは「できるだけ多くの人利用可能であるようなデザインにすること」である。
2. 車いすは360度回転するのに170×170 cmが必要である。
3. アメニティ計画の起源は15世紀初めイタリアに始まった。
4. シックハウスの濃度指針値の一つにキシレンがある。

〔解説〕アメニティ計画の起源は、19世紀のイギリスの都市計画といわれている。

答. 3

【No.15】設計図書のつくり方に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. CADとは、Computer Aided Design（コンピューター援用デザイン的设计製図システム）の頭文字をとった略語である。
2. 設計図は企画設計、基本設計、実施設計、竣工設計の4段階に分けて考えられる。
3. 製図の約束事は、JASの各種製図表示記号、材料構造表示記号、及び寸法の表現等、基本にあたる部分が決められている。
4. 竣工図は、竣工時点の整合性の取れた図面をいい、日常の管理と共に、将来必要なリノベーションのためにも整備が必要である。

〔解説〕JASではなく、JIS

答. 3